

# タオル掛け付き ベランダ物干し台

品番 MC-60

このたびは当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みの上、正しい使い方でご活用ください。この取扱説明書は組み立て後も捨てずに大切に保管しておいてください。

■製品外寸法(約)：幅50cm 奥行52cm 高さ127cm (1台寸法) ■耐荷重：1台あたり10kg タオル掛け部2kg

## 取扱説明書

### △組み立て上の注意事項

- 十分広い平らな場所で行い、床などを傷つけないように注意してください。
- パイプ差し込み時、タオル掛け開閉時は手や指などを挟まないよう十分注意してください。
- パイプ切り口に直接触らないでください。ケガの恐れがありますので軍手等を着用して行ってください。
- 本品には小さい部品等が含まれておりますので、お子様の誤飲、紛失には十分ご注意ください。また、タッピングねじの先端は鋭く尖っておりますので十分注意してください。

- タッピングねじの締め付けすぎに注意してください。(ねじ穴破損の原因になります。)
- 固定ねじは真っ直ぐに入れて締め付けてください。
- パイプは奥までしっかり差し込んでください。
- 固定ねじは完全に外してしまうと内側の板ナットも外れますので紛失などに注意してください。

### ■部品一覧

●プラスドライバーをご用意ください。組み立ての時必要となります。 ※組み立て前に下図の部品がそろっているか確認してください。

注意：下図の○部には固定ねじが取り付けられています。固定ねじが取り付けられているところには板ナットが入っていますので無くさないようご注意ください。

支柱 [上・下]	連結パイプ	ジョイント (左・右)	脚パイプ	ハンガーパイプ	タオル掛け	タッピングねじ
8本	2本	各2個	4本	2本	1枚	4本
上下共同長さ		固定ねじ	固定ねじ	固定ねじ	※タオル掛けは2台のうち1台のみ使用します。	先端がキリ状

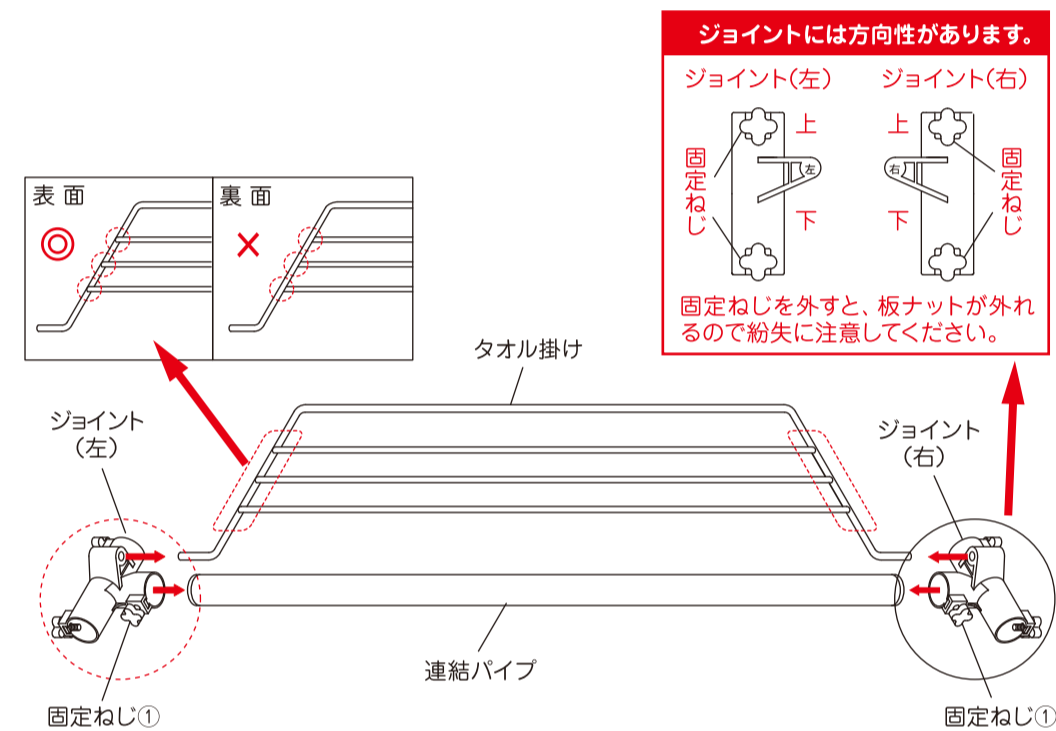
### ■組み立て方法

※手を切る恐れがありますので、パイプの切り口やねじの先端には触らないでください。軍手を着用してください。

#### 手順1 タオル掛け部の組み立て

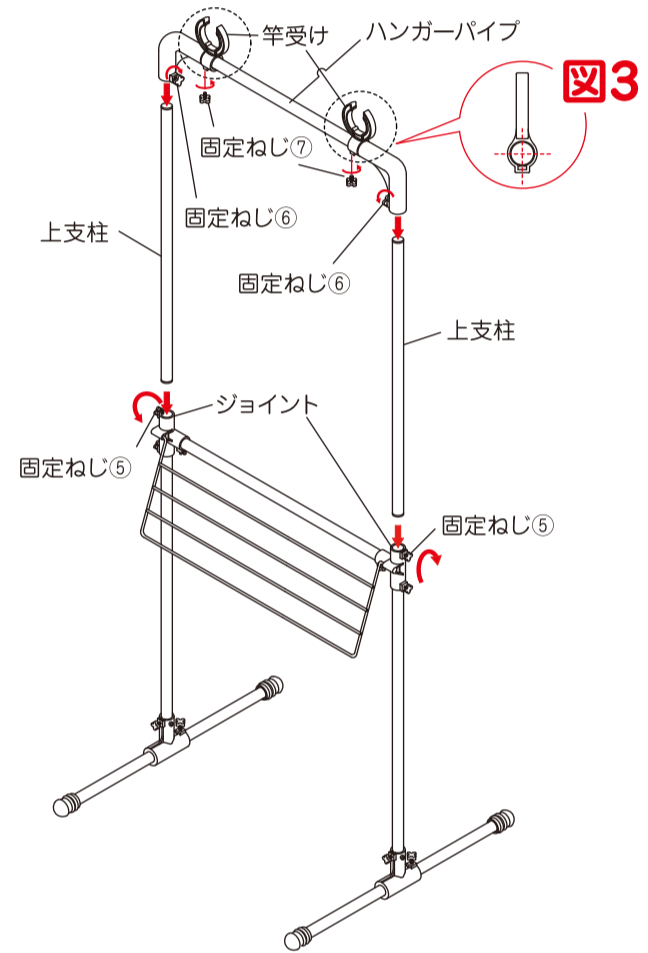
※2台のうち、1台のみにタオル掛けを使用します。

下図のように平らな床面に「ジョイント」を向かい合わせに置き、固定ねじ①を緩め、タオル掛け、連結パイプをそれぞれの穴に差し込み、ジョイントが外れない程度に仮り締めします。残りの1台はタオル掛けは付けないので連結パイプだけ差し込み仮り締めします。



#### 手順3 上支柱、ハンガーパイプの組み立て

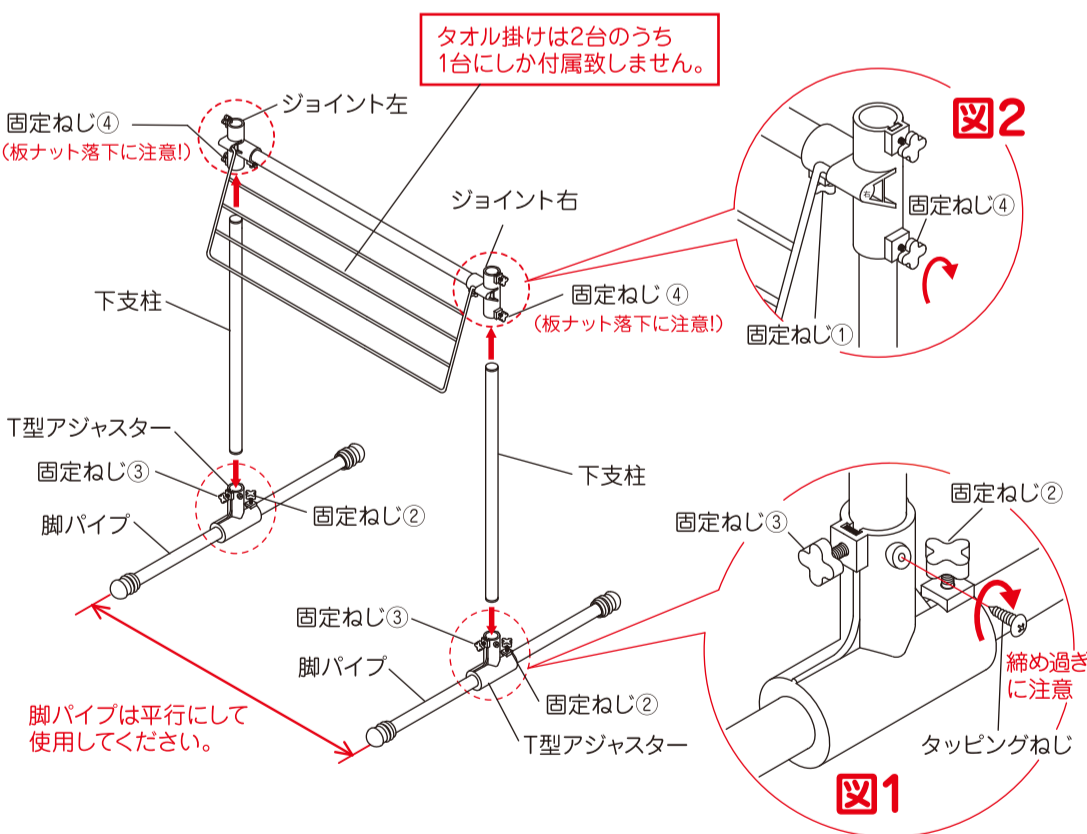
1. 上支柱をジョイントの奥までしっかり差し込み、固定ねじ⑤を根元まで締め込みます。  
※締め込みが緩いと使用時に不安定になりますので注意してください。
2. ハンガーパイプを上支柱に奥まで差し込み、固定ねじ⑥を根元までしっかり締め込みます。  
※締め込みが緩いと使用時に不安定になりますので注意してください。
3. 竿受けを垂直になるように調整して固定ねじ⑦をしっかり締め込みます。(図3参照)



#### 手順2 脚パイプ、下支柱、タオル掛け部の組み立て

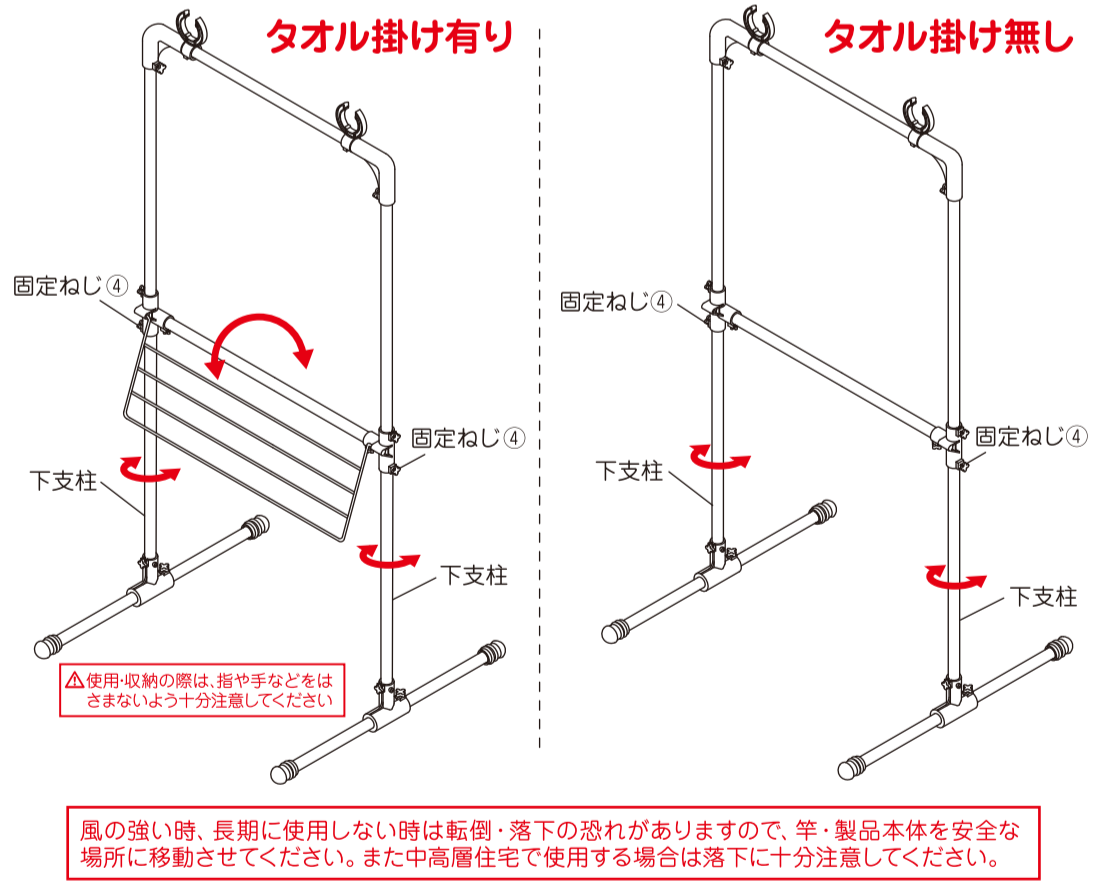
必要箇所の固定ねじを弛めてから組み立ててください。

1. 脚パイプのT型アジャスターを中央辺りの位置にし、固定ねじ②を締め込みます。(図1参照) 下支柱を奥まで差し込み、固定ねじ③を根元までしっかり締め込みます。次にタッピングねじをプラスドライバーで締め込みます。
2. 手順1で組み立てたジョイント部に下支柱を脚パイプが平行になるよう、奥まで差し込み、固定ねじ④を根元までしっかり締め込みます。次に仮り締めしていた固定ねじ①も締め込みます。(図2参照)  
※締め込みが緩いと使用時に下支柱が回転しやすくなりますので注意してください。
3. もう1台も同様に組み立ててください。(タオル掛けは付属致しません。)



#### 完成 組み立ての確認

- ◎から拭きしてから使用してください。
- ◎ねじの締め忘れ、緩み、ねじれなどがなければ確認してから使用してください。また、使用中も定期的に確認を行い、緩い時は締め直してください。
- ◎できるだけベランダの内側で使用してください。
- ◎収納時に固定ねじ④を緩めると下支柱を回転させることができコンパクトにたためます。



### △使用上の注意事項

※注意事項は必ずお守りください。

- しっかりした水平なところでご使用ください。
- 風が強い時は転倒などの恐れがありますので、使用しないでください。
- 直射日光の当たる所、高温となる所、浴室のような湿度の高い所では使用しないでください。
- 洗濯物は完全に脱水してから掛けてください。
- 改造や、製品本来の用途を逸脱した使い方をしないでください。
- 万一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのあるものは掛けないでください。
- 必ず表示耐荷重の範囲内で使用してください。また、荷重はバランスよく掛けてください。(耐荷重は測定値であり、保証するものではありません。)
- 構造上、力を加えますと多少のゆれが生じますが通常使用に差し支えございません。
- 荷重は急激にかけないでください。転倒や破損の原因になります。
- タオル掛け開閉時に指をはさまないように注意してください。
- 支柱やハンガー、タオル掛けなどを強くゆすったり、体重をかけたりなどの行為は絶対にしないでください。(小さなお子様には特に注意してください。)
- 火気のそばでのご使用は衣類に引火する恐れがありますのでお止めください。
- 消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナー等)の付着は変質劣化の原因になります。直ちに取除いてください。
- 汚れは水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭き取ってください。
- パイプ部に油分が付着している場合がありますが、これは防錆油です。使用上、問題はありますが、他のものに付着の恐れがあります。拭きとってから使用してください。
- 樹脂部品は特性上、長期使用により劣化が生じます。ヒビ割れ、変形など異常を発生された場合は危険ですので直ちに使用を中止してください。
- 使用中、ゆがみ、ねじれ、ねじの緩みなどが発生する場合があります。定期的な点検を行い、調整を行ってください。
- 洗濯物をかけたまま移動させないでください。また、移動の際は両側の下支柱を持って行ってください。
- 天災などの不可抗力、経年劣化、改造、誤った使用方法による故障、破損、事故などに対する補償等はいたしかねます。

### △ステンレス製品の取り扱いについて

- パイプには、鉄パイプにステンレス箔を被覆加工したものを使用しています。そのためパイプ内部に水滴などが入り込むとサビの原因になります。
- ステンレスは鉄に比べて錆びにくい特性を持っていますが、使用条件や使用環境によってはサビが発生することがあります。
- パイプ表面に斑点状の赤サビが発生することがありますが、これは大気中に含まれる塩分、鉄粉、有毒ガスが付着することによる「もらいサビ」です。
- 早期の「もらいサビ」は目の細かいサンドペーパーやクレンザーなどで取り除くことが出来ます。
- 漂白剤・タイル用洗剤・酸性洗剤類はステンレスの表面構造を傷め、腐食を引き起こす原因になります。決して使用しないでください。

材質表示	
パイプ	鉄・ステンレス被覆(φ22)
タオル掛け	鉄・エポキシ樹脂粉体塗装
樹脂部品	ABS樹脂・PP樹脂
ねじ類	鉄・メッキ

※予告なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが、右記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

※印刷の都合上、色調は多少実物と異なる場合があります。

DESIGNED IN JAPAN 250417N  
MADE IN CHINA

HEIAN SHINDO 平安伸銅工業株式会社  
TEL 06-6228-8986  
9:30-17:00(土・日・祝日除く)  
www.heianshindo.co.jp

